

2021年12月21日

日中関係学会 文化交流部会オンライン研究会

# 中韓日に生きる徐福伝説

-日中国交正常化50周年をまえに-

達（つじ） 志保



## はじめに

---

「師走の慌ただしさから暫し離れ、悠久の歴史に思いを馳せながら」徐福伝説を聞こうと呼びかけられた今回の講演だが、徐福伝説は遠い過去を語ろうとする歴史ロマンという見方ばかりではない。たとえば、徐福伝説を誰がどのような意図でどのように現在まで伝えてきたのかという視点もある。

つまり徐福伝説研究は、歴史ロマンの研究でもあるし、伝説とそれを伝えてきた人びととの関係のあり方の研究でもある。「誰」というのを個人、人びと、地域社会、国家、国家間などとしてみると、徐福の見え方は多様だ。

今回は、来年の日中国交正常化50周年を踏まえて、「誰」をできるだけ広くとって、そのなかでの徐福伝説の位置づけの移ろいを、私の経験を交えながらみていきたい。

# 1) 徐福伝説とその歴史的変容

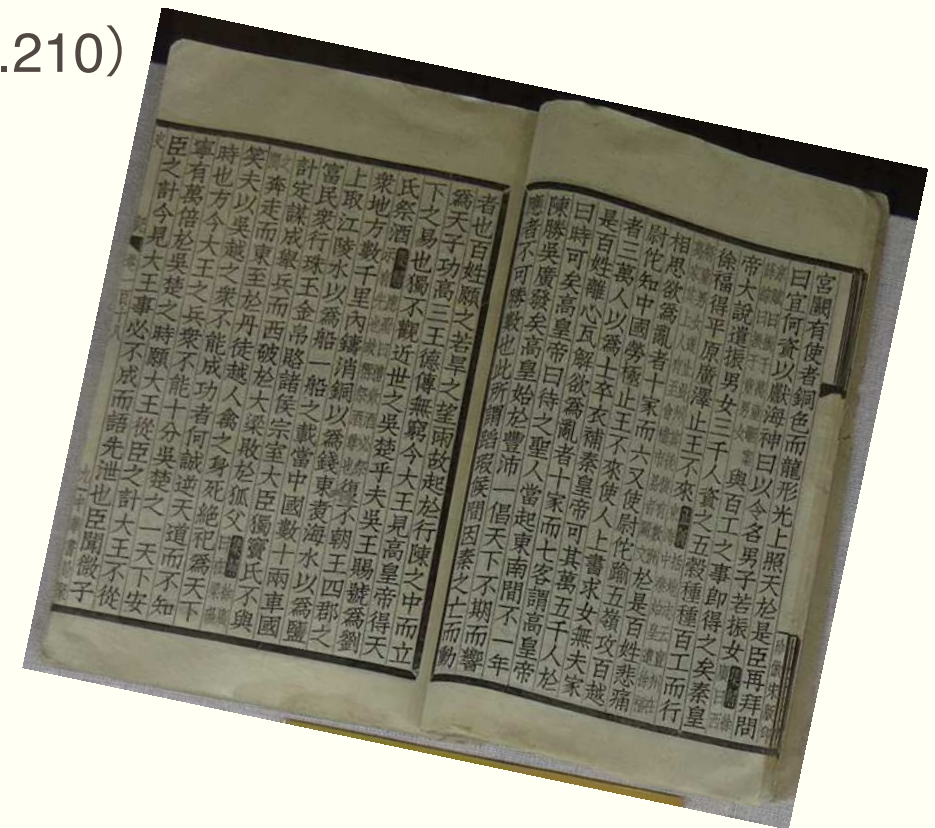
## 徐福伝説とは

【文献資料①】 B.C.91年 司馬遷『史記』秦始皇本紀第6  
始皇帝28 (B.C.219) 年、35 (B.C.212) 年、37 (B.C.210)

齊人徐福（徐市）は秦始皇帝の命を受け  
童男童女数千人とともに  
東海の三神山（蓬萊・方丈・瀛洲）へ  
不死の薬を求めて船出

五穀の種 ↓ 百工（技術者）

平原広沢を得て王となり帰らず（淮南衡山列伝第58）



# 徐福伝説の歴史的変容

行方不明→ 架空の地→ 日本→ 日本各地

## 【文献資料②】 中国／772-846年

白楽天「新樂府五十首（其四）海漫漫戒求仙也」

・・・前略・・・

蓬萊今古但だ名を聞くのみ 煙水茫茫として覓むる処無し  
海漫漫たり風浩浩たり 眼穿たんとするも蓬萊島を見ず  
蓬萊を見ずんば敢て帰らず 童男卅女舟中に老ゆ  
徐福文成誑誕多し・・・後略・・・

## 【文献資料③】 中国／958年

釋義楚『義楚六帖』 卷21、国城州市部第42、国、日本国

日本国は亦倭国と名づく。東海の中にあり。秦の時、徐福將に五百の童男五百の童女を此国に止めんとす。今人物一つにして長安の如し。又顯徳五年歳は戊午に在りて、日本国伝瑜伽大教弘順大師賜紫寬輔有りて、又云ふ。・・・中略・・・又東北千余里の山有りて、富士と名づけ、亦蓬萊と名づく。其の山峻にして、三面是れ海、一朵上聳して、頂に火煙有り。日中に上より諸宝有りて流下し、夜は即ち却りて上る。常に音楽聞ゆ。徐福此に止まりて、蓬萊と謂ふ。今に至りて子孫皆秦氏と曰ふ。

## 【文献資料④】 日本・中国／1376年

絶海中津「応制賦三山」

熊野の峰前 徐福の祠 満山の薬草 雨余に肥ゆ  
只今海上 波濤穩かに 万里の好風 須らく早く帰るべし

大明太祖高皇帝「御製賜和」

能野の峰高し 血食の祠 松根の琥珀 也た肥ゆべし  
当年 徐福僊薬を求め 直に如今に到るまで 更に帰らず



969年『宇津保物語』



# 中韓日の徐福伝承地





## 小説、漫画、ゲーム、映画に登場する徐福

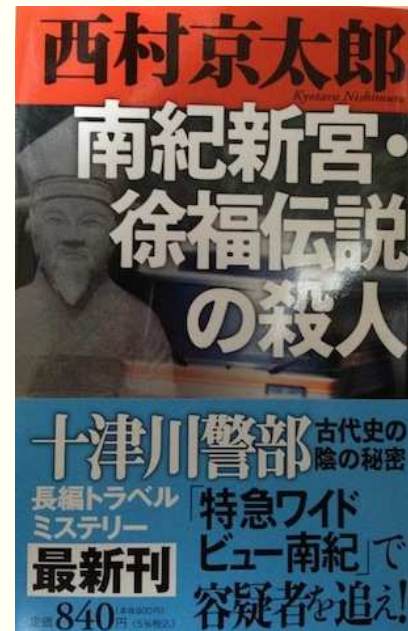
中上 紀『月花の旅人』（2007年、毎日新聞社）

西村京太郎『南紀新宮・徐福伝説の殺人』（2013年、新潮社）

本宮ひろ志『こううんりゅうすい行雲流水〈徐福〉』8巻（2017-20年、集英社）

映画「徐福～永遠の命を探して～」2019年 主演：板野友美

韓国映画「徐福」2021年 主演：コン・ユ、パク・ボコム ←クローン人間





## 2) 日中国交正常化以前の日本での徐福の語られ方

---

### 近代の徐福の語られ方

1907 (M40) 年 熊野市 徐福神社祭神徐福を波田須神社に合祀、徐福之墓建立

1915 (T4) 年 新宮市 徐福保存会設立 (1736 <元文元> 年 秦徐福之墓建立)

1940 (S15) 年 新宮市 皇紀2600年記念事業に秦徐福碑建立

日中戦争中 佐賀県 出征兵士宅に金立神社の湧き水「徐福の水」届ける

中国河北省塩山県千童鎮 徐福にまつわる寺跡碑が日本軍に盗まれる

中国江蘇省贛榆県金山鎮 徐福廟が日本軍に壊される



# 戦後の徐福の語られ方（和歌山県新宮市）（財）新宮徐福協会2009年改訂版『徐福』

- 1946（S21）年 北海道大地震で徐福廟の塀、楼門等崩壊
- 1948（S23）年 徐福講、盆踊りの会、徐福保存会で新宮徐福会設立
- 1951（S26）年 徐福の祭り復活。9月1日法要。（盆踊りか？）
- 1952（S27）年 日本と中華民国政府で日華平和条約締結**
- 1961（S36）年 新宮市長を会長に徐福廟復興期成同盟設立。徐福廟再建に動き出す
- 1962（S37）年 新宮徐福会主催 第1回徐福花火大会（蓬萊小学校）
- 1965（S40）年 徐福花火大会 在日中国人50人参加
- 1966（S41）年 在日華僑と徐福会で絶海中津と明太祖碑建立
- 1967（S42）年 秦徐福之墓が新宮市指定文化財





1968 (S43) 年 台湾から新宮市長に徐福廟建設協力の申し出があり、新宮市は徐福廟再建実行委員会を設立。台湾からテレビ局も来新し、東京で政府要人と会談。



1969 (S44) 年 新宮市の徐福祭に在日華僑代表が出席、再建にむけた会議が続けられ、12月には徐福廟の設計を依頼



1970 (S45) 年 徐福廟設計者来新、金銭的にも動き出す。／観光協会・新宮市主催 熊野徐福万燈祭 (新宮花火大会) (現在も毎年8月12日・13日に開催)

1971 (S46) 年 台湾からの来新に応え、新宮市から台湾訪問。12月徐福廟再建工事地鎮祭。



1972 (S47) 年 2月 台湾より徐福廟再建の寄付金が 中華民国大使館経由で到着。

1972 (S43) 年 3月 日中友好協会和歌山県連合会より 徐福廟再建申し入れ書が届く。



# 徐福を語り続けた人びと

奥野利雄さん（和歌山県新宮市）  
日中戦争中「秦徐福之墓」が倒されていたことを  
自分が死ぬまで明かさないでほしい。

三善喜一郎さん（鹿児島県串木野市）  
満州での憲兵経験

石倉昭重さん（京都府与謝郡伊根町）  
戦争の後悔





### 3) 日中国交正常化以降の日本での徐福の語られ方

天台烏薬

#### 日中国交正常化以降 ～2012年9月まで（和歌山県新宮市、ほか）

##### 1972（S47）年9月29日 日中国交正常化、北京で日中共同声明調印式、同時に台湾との断交

1972（S47）年9月30日 新宮市長「新宮市民と京阪神の華商、台湾の有力者などが中心となって進めていた「徐福廟」復興計画が日中国交正常化と日華平和条約の終了につれて台湾からの援助が期待出来ず、ついに中止のやむなきにいたった」と徐福廟再建計画中止を表明。

1973（S48）年5月 改めて徐福廟建設準備委員会発足

1974（S49）年 徐福祭に新たに香港から香港徐氏宗親会が来新

1975（S50）年5月6日 香港で香港徐福会設立式典がおこなわれることになり、新宮市は訪問団を出す。香港徐福会からの来新は1976年以降も続いた。

1976（S51）年 清水大師跡地を購入し、8月に整地、徐福廟再建への動きは再び始まる。

##### 1978（S53）年 日中平和友好条約締結、鄧小平副総理来日「蓬莱の国に不死の薬を求めに来た」

1979（S54）年2月、新宮市長は来日した鄧小平副総理に天台烏薬を贈った。その天台烏薬を中国に携えて帰ったのが張雲方氏（現在中国徐福会名誉会長）。



1980 (S55) 年 大阪総領事が徐福の墓を訪ねるなど、徐福をめぐる日中友好交流が始まる。

1982 (S57) 年 山東省済南市経済技術使節団の徐福の墓参拝を初め、中国からの訪日団受け入れの記録残る

**1982 (S57) 年 日中国交正常化10周年。6月趙紫陽首相来日、新宮市長再び天台烏薬を贈る。**

同月「徐福村」発見

1985 (S60) 年 徐福村碑建立 (連雲港市贛榆県) 【日本高校生友好訪中団員として連雲港市訪問】

1986 (S61) 年 中日関係史研究会・汪向荣氏「中国の徐福研究」「徐福の研究は、中国で始まったばかりだが、日本でもこのような日が必ずや訪れると信じている」(『中央公論』)

【1987 (S62) 年 戦後初めて外国人の団体として贛榆県訪問】

1990年 徐福像建立 (連雲港市贛榆県)

1991年 日本徐福会設立 / 【富士通卒論コンクールで『徐福伝説考』刊行】

1993年 中国徐福会設立

1994年 徐福公園開園 (新宮)

1997年 青森ねぶた「秦徐福と権現崎」





2002年 第1回東アジア徐福文化国際学術大会 (韓国濟州道西歸浦市・濟州学会)

2002年 徐福像建立 (青森県小泊)

2002年11月-2007年 習近平氏、浙江省党書記

2003年 徐福像建立 (福岡県八女市)

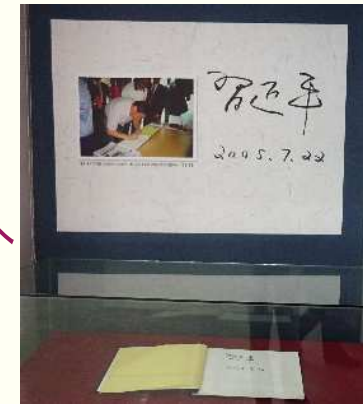
2004年 徐福東渡国際文化節 (浙江省岱山島)

／「徐福上陸記念碑」建立 (佐賀県諸富町)

2005年 徐福像建立 (濟州島西歸浦市) ／習近平氏、徐福展示館へ

2006年 博多祇園山笠「日中宥和徐福勲」

／徐福像移築 (連雲港市贛榆県) ／徐福研究所設立 (連雲港市淮海工学院) 揮毫羽田孜



【2007年 北京師範大学民俗典籍文字研究中心・文学院民俗学与社会発展研究所にてグローバル化のなかの文化遺産をテーマに報告。中国側から、かつて中国民俗学の鐘敬文氏が北京師範大で徐福について発表したいという申し出に対して断ったという話が披露され「しかしいま徐福伝説は研究になりますね」と言われた。徐福は研究テーマ、学問として扱うことができると認知されはじめた。】

2007年 「徐福公園」揮毫 温家宝首相（済州島）

2008年 中国国家級非物質文化遺産「徐福東渡伝説」

2010年 韓国徐福中央会設立

【2011年 徐福文化研究特別貢献賞受賞（中国国際徐福文化）】

2012年 日中国交正常化40周年＝徐福東渡2222年

2012年5月始動 中国 上海海事大学 海洋文化研究所  
徐福研究室開室準備

【2012年 徐福文化学術研究賞受賞（中国徐福会）】





## 4) 尖閣諸島国有化問題以降の中韓日での徐福の語られ方

2012年9月12日 中国徐福文化象山国際大会（15-18日）中止決定／9月16日 海開きの祭典が、「尖閣諸島へ抗議の船」報道

2013年 中国駐日本大使程永華氏 佐賀訪問「徐福長寿館ほかを見学。「当時の航海技術ではさぞ色々と困難があっただろうと想像している。両国の民衆が困難を乗り越えて行き来していたことから両国のつながりは歴史的にも文化的にも深い」と話した。」（9月8日 読売新聞）

2014年 習近平氏、国家主席就任後初の韓国訪問で徐福に言及

2015年5月 徐福長寿館開館20周年・徐福東渡2225周年「“徐福を語る”フォーラム in佐賀」／10月 中国江蘇省連雲港市贛榆区・中国贛榆2015

「徐福文化と“一帯一路”の接点建設国際学術シンポジウム」  
世界文化遺産登録に向けて徐福文化国際研究協議会及び事務局の設立／11月 韓国済州島西帰浦市  
済州徐福文化国際交流協会 第14回徐福文化学術セミナー





2016年4月 日本徐福協会設立／6月 中国浙江省象山県・2016中日韓徐福文化象山フォーラム／10月6日～8日 韓国濟州島／10月9日～11日 韓国慶尚南道南海／10月18日～20日 中国江蘇省連雲港市贛榆区 徐福文化陳列館／10月22日～23日 日本山梨県富士吉田市



2017年9月 韓国慶尚南道咸陽「韓・日・中 徐福文化咸陽国際学術シンポジウム」／10月 中国江蘇省連雲港市贛榆区・第10回徐福故里海洋文化節「徐福文化と健康世界シンポジウム」／12月 韓国濟州島西帰浦市・第16回日中韓濟州徐福文化学術大会

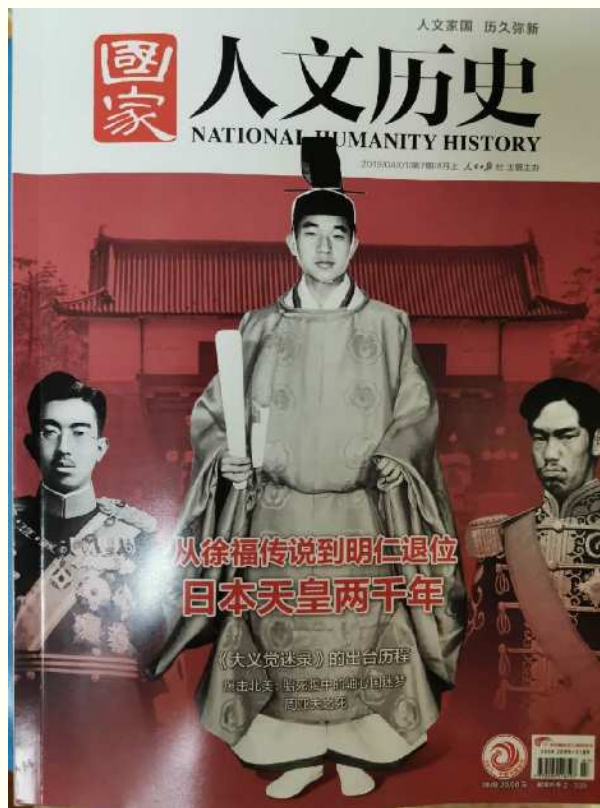




2018年9月 韩国慶尚南道咸陽「中・韓・日 徐福国際学術シンポジウム」  
／10月 韩国濟州島西歸浦市・第17回韓中日国際徐福文化祭



2019年4月 中国琅琊及徐福研究会「2019年中韓日の専門家による  
琅琊徐福出航地の国際交流活動」／4月 中国蘇州市徐福研究会「「徐福千  
灯から東に渡る」演舞初演式」／4月 「徐福伝説から明仁の退位まで 日  
本の天皇2000年」（『国家 人文歴史』人民日報社）／10月 中国山東省  
魯東大学徐福プロジェクト始動





# コロナ禍の徐福の語られ方

2020年 中韓日の交流イベントは全て中止／祭祀は規模を縮小

2020年→2021年10月 韓国慶尚南道咸陽 山参アンチエイジングエキスポ 「徐福文化学術シンポジウム」→海外からオンライン参加

2021年10月 中国江蘇省連雲港市贛榆区 中国贛榆第12回徐福故里海洋文化祭「徐福文化国際フォーラム」は「徐福文化と地域発展フォーラム」に変更 →海外からオンライン参加





## まとめ

---

徐福伝説は中韓日の政治関係、国際的な経済状況などのなかで、政治的・経済的・文化政策的利用に翻弄されながらも、異なるルートをたどってたどり着いた地域の人びとに受け入れられてきた。そうした人びとの徐福への愛着のなかで、政治・経済・文化利用とは異なる徐福像が彫琢されてきた。

地域の人びととともにいまを生きる徐福は、それぞれの地域で異なる姿を見せているけれど、ルーツを共有することで保たれてきた想像の共同体のなかの徐福であり続けている。ひとつのルーツとたくさんルーツこそが徐福伝説の面白さと深くつながっている。

達 志保（つじ しほ） horuhoru4@gmail.com

1967年東京生まれ、愛知県あま市在住。

愛知県立大学大学院国際文化研究科博士課程修了 博士（国際文化）

愛知県立大学・中京大学・愛知淑徳大学非常勤講師、魯東大学兼職教授（中国山東省）  
枝下用水資料室代表、公益財団法人愛知・豊川用水振興協会研究員（愛知用水担当）

日中関係学会理事、日本口承文芸学会理事、日本民俗学会会員、日本ペンクラブ会員  
中京大学先端共同研究機構文化科学研究所特任研究員

蘇州市徐福研究会顧問（中国江蘇省）、連雲港市徐福研究所特約研究員（中国江蘇省）、  
琅琊及徐福研究会特約研究員（中国山東省）

巨済徐福会研究顧問（韓国慶尚南道）、済州徐福文化国際交流協会諮問委員（韓国済州道）  
日本徐福協会顧問、八女徐福会顧問（福岡県）、熊野市観光大使（三重県）

『徐福伝説考』（1991年、一季出版）、『徐福論-いまを生きる伝説-』（2004年、新典社）、  
共著『枝下用水史』（2015年、風媒社）、共著『SKIP 終結宣言-私たちNPOを解散します』（2016  
年、風媒社）ほか